

問 県道六栗新宮線の沿線整備を

答 関係者の理解と協力に期待



松井 甫

問

地元住民が長年にわたり要望して参りました狭隘^{せうがい}で、

老朽化が著しい戸原橋の架け替え工事が終わり、立派な姿を見せています。これに通じる県道六栗香寺線の工事の完成と、県道相生六栗線の工事の完成をみると、いよいよ開通することになります。それでは順次伺います。

まず、県道六栗香寺線及び相生六栗線の開通時期を伺います。次に周辺整備計画とその見通しも伺います。次に滝川橋周辺整備



新しい交差点

備の進行を伺います。最後に二つの県道の開通による交差点対策を伺います。

市長

県道六栗香寺線及び相生六栗線の開通時期

は、平成21年春を目指して整備が進んでいます。次に周辺整備計画の概要と見通しとしては、交差点から南の道路整備は事業化に向け要望していますが、現在のところ未定です。次に滝川橋周辺整備については当初の計画に変更が生じ、関係者の同意が得られず、再度国土交通省に協議をお願いしています。最後に交差点は、交通安全上4差路までが原則とされ、交差点北で六栗新宮線と船元中比地線をパイパスで結ぶルート案を地権者に提示して、理解と協力をお願いしています。

問 不正し尿券の被害認識あるのか

答 金額は未確定も非常に不正常的な状態だ



岩路 昭美

問

山崎浄苑の公金不正は組織管理の歪み、無責任さが原因。住民が被害を受けています。

市長

不正な状況は組合時代に発生しており被害調査・確認が難しいのが現状であります。

問

傍証では17年度監査時の発覚ではないのか。決算書では、市長しか許されない歳入減額の「調定」で収支合わせがされています。調定までして、2年間も管理責任を放置した規律のゆるみが、善良な職員の上気低下や不満を生じさせているのは憂々しい事態です。

市長

17年度決算は議会承認を得ています。また、



し尿処理施設

地方自治法の執行責任や地方公務員法の分限については基準の特定が困難です。しかし、管理責任を免れるのではなく、このような不明確な状況が生じないようにチエック管理体制を徹底させることが私の責任です。

問

全容解明はいつになるのか。本当にやる気があるのか。

市長

警察や弁護士にも相談しており可能な限り調査し、その結果は議会にも報告していきます。

問

法231条の内部意志決定の「調定」は市長固有の権限であり、自らが率先し規律を糾^たささない限り責任の全うとはならない。

市長

自身の判断の甘さを感じている。このようなことが起こらないよう指揮命令・責任体制を整えていきます。